

きくちだいじろうどうしかい 菊池大二郎同志会だより

第6号 平成27年5月14日発行
菊池大二郎同志会広報部

こころざし は 志 の果てに。



① 感謝。

去る、4月12日、山形県議会議員選挙が幕をとじました。結果につきましては、各報道などを通じまして市民の方々も広く知るところと存じます。菊池大二郎は、3871名の方々に希望を託されましたが、残念ながら議席を獲得することは成し得ませんでした。村山のイメージを一新し、心のおどる・生きがいのある政治や活かしていく政治の実現によって、『かけがえない(オンリーワン)村山』『過疎脱却できる村山』を本気で目指すことを繰り返し訴えて参りましたが、本人の努力が足りなかったと言わざるを得ません。当日の敗戦の弁でも、本人自ら次のような言葉で締めくくりました。

しせい ことあ
至誠にして動かざる者は今だ之れ有らざるなり。

(意味) 誠意、真心を尽くせば、必ず人の心は動かすことができる。

動かないならば、まだまだ自分の努力が足りないに過ぎない。



この度の菊池大二郎の選挙戦は非常に厳しいものでした。短期間のなかで本当にたくさんの方々にご難儀をおかけ致しました。本来であれば、ご迷惑をおかけした分、勝利でお応えすることが道理でありましたが、今となっては、ただただ残念な限りでございます。

昨秋の立志からこれまでを振り返りますと、感謝で始まり、感謝で終えた選挙戦でございました。そもそも発言の機会を頂いたこと自体、万感胸に迫る思いでございましたが、それ以上に本当にたくさんのご縁がございました。その全てが菊池大二郎にとっての財産となりました。同志の方々との出逢い、同じ時を生き、そして同じ思いで戦え抜きましたこと、本人にとっても同志会としても誠の誉(ほま)れでございます。本当にありがとうございました。

② 決意

先般、同志会としての県議選反省会を開催いたしました。突然の告知及び敗戦陣営にもかかわらず、市内各所より多数のご参集を賜りましたこと、改めて御礼申し上げます。当反省会に於きましては、選挙総括に限らず、今後の同志会としての活動方針や組織運営の方法について様々な意見交換が行われました。そこで、同志会だよりの発行と同様に、定期的な活動の展開(例えば、ビアガーデン、グラウンド・ゴルフ大会、カラオケ大会、バスツアー、同志会事務所の活用など様々)を行っていくこと、同志会の発会式を大々的にとり行うことが重要であるとの結論に至りました。とりわけ、同志会への入会活動については、上記発会式に至るまで積極的に行うことになりましたので、ご友人やご近所の方へのご勧誘など是非ご協力賜りますようお願い申し上げます。

なお、当日は、ご多忙の中、衆議院議員・近藤洋介先生、先の補欠選で当選された菊池真好市議及び原田昌浩市議からもご参加と貴重な激励を賜りました。ありがとうございます。また、同志会会長及び本人からは以下のような決意が表明されました。

<元木朗博会長より>

①今回は準備期間や組織作りの点で同志会としての機能が弱かった部分があるため、早急に体制作り、土台作りを行います。

②菊池大二郎という人間に我々は大いなる賭（か）けをしました。我々にとっても、本気と勇気のある決断だったが、本当に多くの市民の方々も同様に本人に希望を託したのだと思います。

③何かを成すにはその器にふさわしい人間が必要である。今後も本人の志と共に活動を行っていく所存です。

<菊池大二郎より>

①今年、同志会の拡大、及び同活動に専念します。

②『若いから次がある』などのご声援、誠にありがたい限りです。しかし、次がないところまで村山の危機が迫っていると感じたからこそ、今回の選挙にのぞんだのです。今はよくても、10年先、20年先に村山市を残し、更に躍動させるきっかけを今から作らなければなりません。

③村山のイメージを刷新し、新しい村山を発信することが急務であることは今回の選挙戦以降も何ら変わりはありません。自分にしかできない立ち位置を念頭に、来たるべき戦いに全力で準備していきます。

④苦しみや痛みのある人生に特に驚くことはありません。私以上に辛い思いや経験をされている方がたくさんいらっしゃいます。すべては自分で選んだ道。自分で人生を選べることは幸せなことです。超えるべき壁をただひたすらに、ただひたむきに乗り越えて行くのみです。

上記表明後、満場一致の拍手と「ガンバロウコール」がこだまするなか、無事閉会いたしました。今回の本人の不徳を猛省して、敗戦を絶好の機会ととらえ、今後、更なる高みへと昇る志を立て精進することがお世話になった同志の皆様方はじめ、市民の方々が一番も期待するものと信じて活動して参ります。

③ 入会のご案内

同志会への入会は随時、申込書のご郵送やファックス、お電話、ホームページなど多数の媒体で受け付けております。ご不明点なども含め、お気軽にお声がけください。

※なお、申込書を直接、同志会事務所までお持ちになられた際、仮に事務所が留守の場合は、お手数ですが、郵便受けに投函していただきますようお願い致します。



衆議院議員・近藤洋介代議士



右から菊池真好市議・原田昌浩市議



元木朗博・同志会会長

志の果てに見えたは、また志ひとつなり。

以上